

平成 26 年度 知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議

赤岩地区昆布ツアー一部会（①第 1 回 ②第 2 回）での検討概要

開催日時：①平成 26 年 5 月 9 日 17 時 30 分～ ②5 月 20 日 16 時 30 分～

開催場所：①、②羅臼町役場 2 階会議室

出席機関：環境省釧路環境事務所、北海道森林管理局、斜里町役場、斜里町役場、
羅臼漁業協同組合（①のみ）、羅臼町・知床世界自然遺産協議会（②のみ）
公益財団法人知床財団、知床エコツーリズム推進協議会、知床ガイド協議会
羅臼町（事務局）、知床羅臼町観光協会（事務局、提案者） 以上、構成員
羅臼遊漁釣り部会（オブザーバー）、川端隆（オブザーバー、①のみ）

- 本ツアーを進めることに関しては大筋で合意されたが、クリアすべき課題も出された。
- 船舶の運航に関しては、現在得ている許可で問題ないことを運輸局に確認済み。
- 国有林は利用しない前提ではあるが、国有林の境界ラインを事前に確認済み。
- 自然公園法上は問題ない。
- 「申し合わせ」及び「先端部利用の心得」との整合性を持たせる必要がある。
- 「知床岬地区の利用規制指導に関する申し合わせ」の規制対象区分としては、レクリエーション目的ではなく、教育目的での立ち入りに区分して進める。この申し合わせに名前を連ねている機関のうち、エコツーリズム検討会議に参画していない、網走海上保安署とウトロ漁業協同組合には、事前に説明と合意を得る必要がある。
- 「知床半島先端部地区利用の心得」に関しては、行政機関と知床財団で内容の変更案を検討したが、最低限の変更案と、新たなアクティビティーとして別項目を追記した方が良いなどの意見が出てまとまらず、現地調査を経た上で、再度部会で変更案について議論する。また、心得の「自己責任」は、この場合は参加者ではなくツアー催行者が責任を持つことになるだろう。
- 部会構成員や関係者による現地調査については、本会議での合意を得る前に実施可能だが、一般客が参加してのモニターツアーは、本会議での承認を得てから実施する。
- ほかのツアー企画では体験できない、このツアーならではの内容でなければならない。
- 提案内容について、赤岩地区で実施する必要性と、教育目的であることを明確化した。
- ツアー参加対象は、知床の自然及び羅臼コンブ漁に関心があるエコツーリスト。